

丹沢山地新産のシダ植物

—ホソイノデ—

田村 淳*

Newly distributed pteridophytes - *Polystichum braunii* (Spenn.) Fée - in the Tanzawa mountains, central Japan

Atsushi TAMURA*

I はじめに

2004年4月から開始された丹沢大山総合調査では、希少種の保全が目標の一つである。その基礎は、どこにどんな種が生育しているのかという目録情報の集積である。2004年度の調査において、国のレッドデータブック掲載種ではないが、これまで丹沢山地で未記録のホソイノデ *Polystichum braunii* (Spenn.) Fée の生育を確認したので報告する。

ホソイノデはオシダ科イノデ属に属している。全国的な分布は北海道から中部地方を中心にして、鳥取県大山および山口県笠山に飛んで分布している(倉田・中池, 1983)。県内ではこれまで箱根山地の金時山1か所での記録があるのみである(田中, 1992)。そのため、県のレッドデータブックでは絶滅危惧種に区分されている(神奈川県レッドデータ生物調査団, 1995)。

発見したのは山北町世附フジモク沢の標高700m地点である。沢沿いの落葉広葉樹林下にツヤナシイノデ、ジュウモンジシダなどとともに2株生育していた(写真1)。いずれの株もソーラスを付けていな

かった。これは、葉に草食動物による採食痕があったことから、成熟段階に達していない可能性がある。ホソイノデは多年生草本のため、根茎が残る限り草食動物に採食されても急に消失することはないと思われる。今後は追跡調査する中で、保護柵の設置などの保全策を検討していく必要がある。

標本は神奈川県立生命の星・地球博物館に納めた。

この報告にあたり、標本を同定していただいた日本シダの会会員の岡 武利・山本 明、両氏、並びに採集の許可をいただいた関係機関の許認可担当者にお礼申し上げる。

II 引用文献

- 神奈川県レッドデータ生物調査団(1995) 神奈川県レッドデータ生物調査報告書. 257pp, 神奈川県立生命の星・地球博物館. 神奈川
- 倉田 悟・中池敏之(1983) 日本のシダ植物図鑑 分布・生態・分類3. 728pp, 東京大学出版会. 東京
- 田中一雄(1992) 観察記録「シダノート」より. 日本シダの会会報91・92:7-9.



写真1 ホソイノデ